

第3回ねごろ医用実学研究会講演会

日時：平成25年9月2日（月）14:00～

場所：生物理工学部 10号館・112号室



(国宝)根来寺大塔

【基調講演】 高分子学会会長・大阪大学大学院工学研究科
教授 明石 満 先生

『高分子科学といきものの接点を求めて： 高分子の会合・集合の利用と細胞機能制御』

種々の細胞機能に触発されて研究を行ってきた。核酸機能に学んだテンプレート重合へ挑戦してきた。また、ウイルスの生体への侵入、免疫応答を知って、ナノ粒子ワクチンの領域を生み出した。樹状細胞へ抗原を運び込むことと合成高分子による免疫応答制御への挑戦である。さらに、細胞から組織へ、つまり多くの細胞を集め組織として機能させようと新たな挑戦を続けている。正面から高分子科学を捉え学び磨くことで、高分子が役立つことを示したいと思う。科学であり工学である。

【ミニ講演】

1. 大阪大学大学院工学研究科 准教授 木田敏之 先生

『シクロデキストリン化学の新展開～オイル中での分子認識を利用したPCBの除去～』

2. 大阪大学大学院工学研究科 特任准教授 赤木隆美 先生

『生分解性ナノ粒子を用いたDDS、ワクチン開発』

3. 大阪大学臨床医工学融合研究教育センター 特任准教授 網代広治 先生

『新しい医用高分子合成を目指したトリメチレンカーボネート誘導体の設計』

4. 大阪大学大学院工学研究科 助教 松崎典弥 先生

『ナノテクノロジーによる三次元ヒト生体組織モデルの創製とその医用応用』

会場の都合から、聴講される方はあらかじめ事務局までご連絡下さい。

【事務局】担当 黒田

(内線5206, E-mail:kuroda@waka.kindai.ac.jp) 代表幹事：古菌(医用工学科)